

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		敬老会開催事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
		項	01 社会福祉費		小分類	02 高齢者の社会参加の促進	
目		02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,135	2,114	2,126	2,118	2,396
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,135	2,114	2,126	2,118	2,396
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 77歳以上の高齢者						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 77歳以上の高齢者に対し、感謝と敬意を表し敬老祝品を贈呈して長寿を祝い、敬老精神の高揚を図る。						
⑤	事業概要 77歳以上の方々を対象に敬老会を開催し、併せて記念品を贈呈する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 敬老会出席率は招待者の約3割。地区でお茶飲み会やミニデイサービスが行われていることから、地区単位での開催の声も聞こえてきている。一方地区で行うことに負担を感じるという声もあり、今後の開催について検討が必要である。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	出席者数 単位：人	実績値	308	281	292	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	77歳以上の高齢者を対象として、町からの記念品を贈呈した。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	高齢者の福祉に努めた。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	現時点では適正に行われているが、今後内容等について効率性を図っていきたい。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	ここ数年の出席率は安定しているが、もう少し出席率が上がるよう対策を検討したい。

⑪	課長総括評価 地区開催や内容について、行政区長や町民からの意見を聞きながら改善していきたい。 合計点 40
今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		敬老祝金支給等事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
		項	01 社会福祉費		小分類	02 高齢者の社会参加の促進	
目		02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,655	1,654	1,439	1,435	1,822
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,655	1,654	1,439	1,435	1,822
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	<ul style="list-style-type: none"> ●敬老祝金：町内に引き続き3年以上住所を有する者で、次に掲げる年齢に達した者 ①90歳 ②95歳 ③101歳以上 ●特別敬老祝い金：町内に引き続き10年以上住所を有し、100歳に達した者 						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	高齢者に対して、敬老祝金等を贈呈して長寿を祝い、併せて敬老精神の高揚を図ることを目的とする。						
⑤	事業概要						
	<ul style="list-style-type: none"> ●敬老祝金：町内に引き続き3年以上住所を有する者で、次の各号に掲げる年齢に達したときは、同号に掲げる敬老祝い金等を贈呈する。①90歳：2万円及び花束 ②95歳：花束 ③101歳に達した年から毎年：花束 ●特別敬老祝い金：町内に引き続き10年以上住所を有し、100歳に達した者に、その年に限り20万円及び花束。 						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	人生100年と言われている今日であり、今後対象者の増加が予想されるが、元気に長寿を祝えるよう健康増進を図っていく。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町敬老祝金等贈呈に関する条例						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	対象者数 単位：人	実績値	65	60	63	
			目標値	0	0	0	
	定義	前年度末対象者数					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 11	社会貢献やご苦勞をされてきた高齢者に対し、長寿を祝うことは必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	対象者本人、家族、地域に長寿を祝う精神の高揚を図る手段として有効である。また、高齢者を取り巻く現状を垣間見る事ができる事業。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	効率性を考慮し、見直しを図ってきているが、今後についてはさらに検討する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	この祝い金等での訪問が、高齢者を敬う役割を果たしていると思われる。

⑪	課長総括評価 高齡化社会に対応するため、本人、家族、地域、行政が一体となり支援する必要性として大切な事業である。
合計点 39	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		老人クラブ連合会助成事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	04 長寿社会の確立	
項		01 社会福祉費	小分類		02 高齢者の社会参加の促進		
目	02 老人福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,095	1,095	1,107	1,107	1,150
	財源 内訳	国県支出金	595	595	607	607	650
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	500	500	500	500	500
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
老人クラブ連合会並びに単位老人クラブ							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
老人クラブ連合会並びに単位老人クラブに対し、補助金を助成し、会員の教養の向上、健康増進レクリエーション、スポーツの振興など、健全で豊かな生きがいのある生活と老人の知識と経験を生かし、社会参加を促進し、老人福祉の向上を図る。							
⑤	事業概要						
老人クラブ連合会並びに単位老人クラブ活動に対する補助金の交付。 単位老人クラブ数 14クラブ、会員数317名。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
地域福祉と健康増進のため老人クラブの果たす役割は年々重要となっている。また、各種事業を積極的に実施しており町が支援することは重要である。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
補助金交付事務取扱要領							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	会員数	単位：人	実績値	335	325	317	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	長寿社会づくりのため各種活動に取り組む老人クラブに対し、町が支援を行うことは必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	活力ある長寿社会づくりの推進役として、老人クラブの人材育成や仲間づくり等の活動を積極的に進める老人クラブへの補助は有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	高齢化が進行している現状で、地域社会での老人クラブの活動は重要であるが、会員数が年々減少している。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	老人クラブ活動は積極的に行われているが、会員数が減少している。

⑪	課長総括評価 合計点 40	地域福祉のため老人クラブの果たす役割は年々重要となり、各種事業を積極的に実施しており町が支援することは重要である。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		